



高尾山のいきものたち

エナガ

(エナガ科)

丸っぽい体につぶらな瞳が輝き、愛らしい。嘴が小さく、白い頭で、目の上から黒い模様が背中まであり、肩の羽が淡い葡萄色をしている。尾が長く、全長14cm程の半分位が尾である。

留鳥または漂鳥で、平地から山地の林に生息する。「ジュルル」「ジュルル」と鳴きながら群れで移動し、枝から枝へ飛び移り、小さな嘴で、主に昆虫やクモ、その卵、また木の実や樹液も食べる。産卵期も群れでいて、雛には、相手が見つからなかった雄や繁殖に失敗したつがいなど、親以外の個体も餌を与えることがある。結果的に群れで子供を育てているわけだ。小さな鳥で、天敵に食べられることも少なくないが、仲間で助け合って命をつないでいる。

(写真・文 森林インストラクター 藤原 裕二)



NO.51

キハダ (ミカン科)

全国に分布する高木の落葉樹です。名前の由来は、内樹皮の鮮やかな黄色からとされています。

キハダの黄色い内樹皮には、抗菌・抗炎症の作用があるベルベリンが含まれ、「良薬は口に苦し」の言葉通り、強い苦味と健胃整腸作用があり、古くから薬用植物として使われてきました。

黄色に染める天然染料としても古くから用いられ、中国では「黄衣(おうえ)」とって位の高い者の着衣とされてきました。また、防虫作用があるため、特に長期間保存する必要がある経典、戸籍帳などに使用する染紙は「キハダで染められた」と言われて

います。

材質は、心材も黄褐色で、光沢があり美しい柰目が現れ、木材としては比較的軽いものの適度な堅さがあり、建築材、家具材、床柱、寄木や経木などに使用されています。

木材の色や木理が桑に似ているため、桑の模擬材として鏡台や茶筆筒などに用いられることもあり、「本桑」と区別して「女桑」などと称され利用されています。(皿)



黄色い内樹皮

森林カレッジⅣ

当センターでは、専門家の講義や森林作業などを通じて、一般市民の皆様の人々の生活や環境と森林との関係について学ぶ森林環境教育講座「森林カレッジ」を毎年開校しています。

令和2年1月18日（土）に、今年度最後となる「森林カレッジⅣ」を、日影沢にある自然学習体験施設の炭焼小屋において開催しました。あいにくと1日中雪の降る天気でしたが、午前中に炭焼体験、午後は東京大学名誉教授の谷田貝光克先生による「森林の恵みと共に～炭焼き、そして森の香り～」と題した講義を実施しました。

午前中の炭焼体験は、地面を掘って作った窯「伏せ焼き窯」1箇所とドラム缶を利用して作った「ドラム缶窯」2箇所を使い3班に分けて実施しました。炭となる竹を窯に並べたり、窯内部の温度を上げるためのうちわ扇ぎなどを交替しながら行い、勢いよく出だした煙に手をかざし温度の変化を感じたりしながら、最近では目にするここのない煙に包まれた光景を楽しんでいました。

午後の講義では、現在、炭焼きの会会長、香りの図書館館長等数多くの要職に就かれている谷田貝先生の講義に、メモをとりながら耳を傾けていました。

閉会式では、「炭の性質などについて詳しい話を聞くことができ大変勉強になった」「何回でもやりたいほど楽しい作業でした」等の感想を受講生からいただきました。

閉会式に続き、森林カレッジ閉校式を行い修了証書の授与も行いました。修了証書を手にした受講生からは、1年間を通して講義して下さった講師の先生やボランティアで協力いただいたフォレストサポートスタッフ、職員に対する感謝の言葉や「林業には興味はなかったが興味が湧いてきた」等、主催者として達成感を感じる感想をいただきました。（磯）



興味深い矢田貝先生の講義



伏せ焼き窯へ竹を敷き詰める



ドラム缶窯内へ熱風を送る



終日降雪の中での講義と作業でした



無事修了し笑顔の皆さん

当センターの1階にありますクラフト体験室です。

クラフト体験

AM (受付11時まで) 10:00~12:00

PM (受付15時まで) 13:00~16:00

※年中無休(年末・年始・臨時休館を除く)

クラフト体験室では、農林水産省林野庁の「木育」をテーマとした、森の材料(木の実や小枝)とふれあい、世界に一つだけのクラフトづくりを体験することができます。

「木育」とは、すべての人達が木とふれあい、木に学び、木と生きること、を学ぶ活動です。



予約は教育機関のみ受け付けます！
お電話にてお問い合わせください。

☆ 下見もできます。☆

土日祝日の予約は受け付けません。



農林水産省林野庁 関東森林管理局
高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1
TEL 042-663-6689 (2階事務室: 平日8:00~17:15)
<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>



センサーカメラに写った動物たち

2019年11月~2020年1月の画像からピックアップ

シカの群れ



11.22.2019 06:25:33

ウサギ



12.07.2019 05:21:07

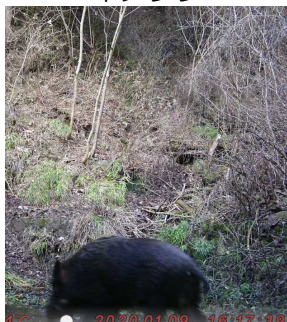
シカ(オス)



ScoutGuard

11.28.2019 19:32:49

イノシシ



2020.01.09 16:17:38

ニホンカモシカ



2020.01.07 07:28:00

シカ(オス)



ScoutGuard

11.10.2019 19:11:47

高尾陣馬特別警戒

年末年始の高尾山パトロールを実施

警察や消防等の関係機関・団体で組織する「高尾陣馬特別警戒連絡協議会」では、毎年大晦日から元旦にかけて高尾山頂周辺で事故防止、犯罪防止、山火事防止等を目的としたパトロールを実施しています。

当協議会の構成員である当センターから2名、東京神奈川森林管理署から4名の計6名が参加し、高尾山山頂から小仏城山間の登山道において、交代で夜間の巡回パトロールを実施しました。

初日の出を目当てに大晦日の夜から多数の人が訪れる高尾山ですが、今回も事故や山火事の発生もなく元旦を迎えることができ一安心。ご来光を拝みながら今年の安全を祈願し、巡回パトロールは無事終了となりました。（高）



参加職員（朝日を浴びながら）



小仏城山から見える都心の明かり



山頂で初日の出を待ちわびる人たち



迎光祭の読経が響くなか迎える初日の出

編集後記

2月13日から14日に開催される関東森林管理局森林・林業技術等交流発表会に、当センターからも『「森林環境教育」を充実させるための取組について』と題し、日頃の成果を発表します。発表は13日15時40分からの予定です。

Forest通信 NO.372

発行：林野庁関東森林管理局
高尾森林ふれあい推進センター



ご意見・ご要望・イベントのお申込み・お問合わせ先
高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1

TEL 050-3160-6040 FAX 042-663-7229

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>